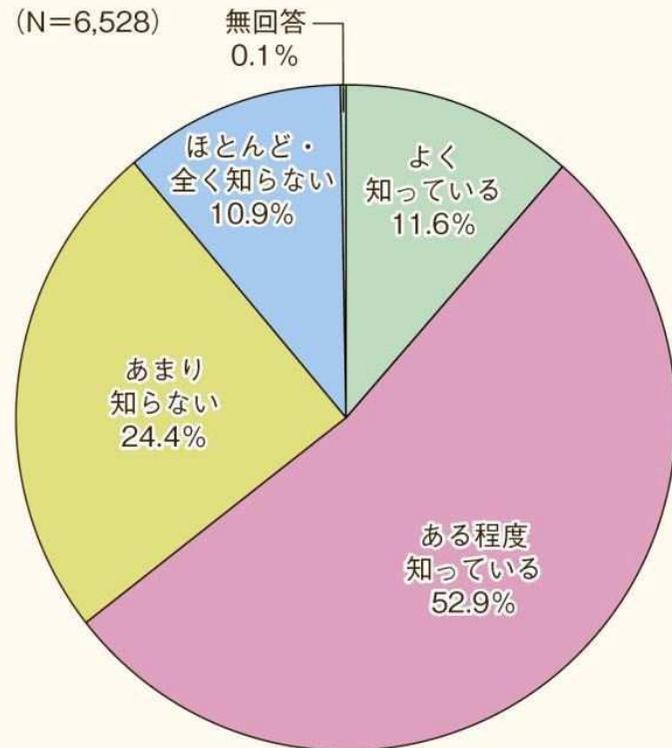


食品ロス問題を知っている人は64.5%、賞味期限を過ぎても自分で判断する人は66.5%。



消費者も意識はしているものの、行動には結びついていない可能性。

「分かりやすい問題提起」と「楽しく実践できる方策の提案」を通じて、食品ロスに関する認知度の向上と消費者の協力を促していく。



- (備考) 1. 消費者庁「消費者意識基本調査」(2013年度)。  
2. 「あなたは、食品ロスという問題を知っていますか。」との問に対する回答。

「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する

